

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	国語	科目	国語総合演習（総合選択A，B，C）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）		自校作成教材					
副教材等（出版社）							

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との意見の交流を通じて伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	物語 諸家の思想	竹取物語 伊勢物語 孟子 老子 莊子	24
2	随筆 物語	徒然草 枕草子 源氏物語	30
3	日記 項羽と劉邦	紫式部日記 更級日記 四面楚歌	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・授業 ・提出物	語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	語句の量を増し、それらの文化的背景についてある程度理解を深め、文章の中で使うことができる。	語句を学ぶが、それらの文化的背景について理解できておらず、文章の中で正しく使うことができない。
【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自分の考えをもつ。	・授業 ・提出物	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。	作品の内容や多様な解釈を踏まえ、他者との関わりの中で自分のものの見方、感じ方、考え方をある程度深め、我が国の言語文化について考えることができる。	作品の内容や多様な解釈への理解ができず、他者との関わりに消極的であり、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができない。
【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・授業 ・提出物	我が国の言語の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。	我が国の言語の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	我が国の言語の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする姿勢が薄い。

※具体的な評価方法等

- ・授業時における発言や記述内容
- ・授業内テストの素点
- ・発表の完成度
- ・授業プリントの完成度

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	地歴公民科	科目	地域研究	学年	3 2	単位	
教科書(出版社)		なし					
副教材等(出版社)		「江戸から東京へ」(東京都教育委員会)					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
本校の所在する葛飾区また東京都、更に日本と世界について、広い知識を身に着け、深化させる。	本校の所在する葛飾区また東京都、更に日本と世界について、深い思考を身に着け、深化させる。	本校の所在する葛飾区また東京都、更に日本と世界についての学習を通じて、生涯学習に繋げる一助とする。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	「世界や地域についての学問的探求」	・ 既知の社会科的知識の振り返り ・ 各国や地域の位置、風土、文化 ・ 地域を結ぶ輸送手段 ・ 地誌集中と地方の衰退 ・ 東京都の特性 ・ 葛飾区についての調査	24
2	世界や地域についての学問的探求の深化」	・ 東京都の地理 ・ 東京都の産業 ・ 東京都の歴史 ・ 東京都の島しょ地域 ・ 東京都の黎明期 ・ 東京都を支える地方について	30
3	「世界や地域についての学問的探求の継続的態度」	・ 東京都の中の葛飾区 ・ 葛飾区と東京都、日本と世界の未来 ・ 学習成果発表会とその準備	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識・技能】 学習内容について、その学習内容が十分に定着しているか。	・ワークシート 成果 ・授業中の応答 ・考査	学習内容が十分に定着し、更に自己の関心に基づいた学習成果の定着も十分である。	学習内容が概ね定着している。	学習内容が十分に定着していない。
【思考・判断・表現力等】 多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来るか。	・ワークシート 成果 ・授業中の応答 ・考査	場合によってはリーダーシップを発揮し、多様な学習・調査内容を高度にまとめ考えることが出来る。	概ね多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来る。	多様な学習・調査内容を合理的にまとめ考えることが出来ない。
【主体的に学習に向かう態度】 意欲的に授業・学習活動に取り組み、更に高度な学習をする意欲があるか。	・授業中の応答 ・学習成果物 ・授業態度	意欲的に学習に取り組み、更に、自己の関心に基づき、更なる学習をする態度が見られる。	意欲的に学習に取り組んでいる要素がある。	意欲的に学習に取り組む態度が見られない。

※具体的な評価方法等

- ・ 考査素点
- ・ 学習成果物
- ・ 授業中の応答・態度

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	地理歴史	科目	教養社会（総合選択C）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
諸課題を探究する基盤となる歴史・地理・公民の各概念や理論の知識を取得し、探究の結果をまとめる技能を身に付けるようにする。	諸課題の解決に向け、社会的な見方・考え方のもと、物事を多面的・多角的に考察する力や構想したことを議論し合計形成を行う力を身に付ける。	諸課題を主体的に解決しようとする態度、人間としての在り方生き方についての自覚など、社会的教養を基盤とした公民としての資質を身に付ける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・社会の中の私たち(1) ・公民的分野を中心とした教養	・現代的諸課題と私たちとの関わり ・問い立て ・私たちと法 ・私たちと政治 ・私たちと経済 ・私たちと思想 ・現代的諸課題と公民的概念 ・問いに対する公民的分野の活用	24
2	・歴史的分野を中心とした教養 ・地理的分野を中心とした教養	・私たちと歴史 ・資料と歴史 ・現代的諸課題の背景としての歴史 ・問いに対する歴史的分野の活用 ・私たちと地理 ・私たちと地域 ・現代的諸課題と地理歴概念 ・問いに対する地理的分野の活用	30
3	・社会の中の私たち(2)	・問いに対する結論の発表 ・社会的教養の共有	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 ・基本的・標準的・高度な知識及び技能を身に着けているか	・授業 ・定期考査 ・提出物 ・発表 等	高度な知識・技能が定着している。	標準的な知識・技能が定着している。	基本的な知識・技能が定着していない
【思考力、判断力、表現力等】 正しい日本語での意見表明から出発し、他者との協働による民主的な意見を形成できるか	・授業 ・定期考査 ・提出物 ・発表 等	他者との協働により、民主的意見を形成する力が身についている。	複数の情報からの合理的思考と判断する力が定着している	正しい日本語での自己の意見の表現が出来ない
【主体的に学習に取り組む態度】 学びに向かう基本的な態度から出発して、他者との関係性において合理的に行動できるか	・授業 ・定期考査 ・提出物 ・発表 等	他者との関係性において、合理的に行動する人間性が出てきている。	自ら考えて自己の意見を明確な言語で表明することができる。	学びに対しての前向きな態度が形成されていない。

※具体的な評価方法等

・定期考査、提出物、・発表 等

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	数学	科目	数学応用（総合選択BC）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	なし						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形の性質を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを確認し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	式と証明 ・整式の乗法と因数分解 ・二項定理 ・整式の割り算 ・分数式の乗法・除法 ・分数式の加法・減法 複素数と方程式 ・複素数 ・2次方程式の解と判別式 ・解と係数の関係 ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式	・展開の公式を用いて、3乗に関わる式を展開することができる。 ・3次の因数分解の公式を理解し、それらを用いて因数分解することができる。 ・式の形の特徴に着目して式変形し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 ・二項定理や分数式の四則計算方法を習熟する。 ・パスカルの三角形の性質を理解し、パスカルの三角形の作り方がわかる。 ・整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ・分数式を分数と同じように約分して扱うことができる。 ・方程式が解をもつように数の範囲を拡張する。 ・方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 ・2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 ・整式を1次式で割ったときの余りを求めるのに、剰余の定理が利用できることを理解している。 ・$P(k)=0$であるkの値の見つけ方を理解し、高次式を因数分解できる。	24
2	指数関数と対数関数 ・指数関数 ・対数関数 微分法と積分法 ・微分法 ・不定積分	・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解する。 ・指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらの事象の考察に活用する。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 ・対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらの事象に活用する。 ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。また、微分の考えを事象の考察に活用する。 ・不定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分を求める。	30
3	・定積分 ・面積	・定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分を求める。 ・定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】	確認テスト 定期考査	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができない。
【思考力、判断力、表現力等】	レポート 定期考査	事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現することができない。
【主体的に学習に取り組む態度】	自己調整課題 リフレクションシート	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしていない。

※具体的な評価方法等

- ・定期考査、確認テスト、課題レポート、自己調整課題への取り組み、リフレクションシート

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	理科	科目	生物基礎（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）		新編生物基礎（東京書籍）					
副教材等（出版社）		ニューサポート新編生物基礎（東京書籍）					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	・生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見出すための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画・検証、データ分析・解釈、推論などの方法を習得し、科学的に探究する力を身に付ける。	・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	1 編生物の特徴 1 章生物の多様性と共通性 2 章生物とエネルギー 2 編遺伝子とその働き 1 章遺伝情報とDNA	・生物の多様性 ・生物の共通性 ・細胞の特徴 ・生体とATP ・酵素のはたらき ・呼吸と光合成 ・生物と遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配 ・顕微鏡による観察	24
2	2 編遺伝子とその働き 2 章遺伝情報とタンパク質の合成 3 編ヒトの体の調節 1 章ヒトの体を調節するしくみ 2 章免疫のはたらき	・タンパク質 ・タンパク質と遺伝情報 ・細胞の分化と遺伝子 ・体内環境 ・神経系・内分泌系による情報伝達 ・血糖濃度の調節 ・免疫のしくみ ・免疫の応用と疾病 ・顕微鏡による観察 ・DNAの抽出	36
3	4 編生物の多様性と生態系 1 章植生と遷移 2 章生態系と生物の多様性	・身のまわりの植生 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム ・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間の関係 ・生態系の人為的攪乱 ・生態系の保全	10

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ・生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	定期考査 授業プリント 実験レポート 授業態度 発言	生物や生物現象についての理解や観察・実験に関する技能が十分に確認できる。	生物や生物現象についての理解や観察・実験に関する技能が概ね確認できる。	生物や生物現象についての理解や観察・実験に関する技能が不十分である。
【思考力、判断力、表現力等】 ・生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見出すための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画・検証、データ分析・解釈、推論などの方法を習得し、科学的に探究する力を身に付ける。	定期考査 授業プリント 実験レポート 授業態度 発言	生物と生命現象について、観察・実験などを通して、思考力、判断力、表現力が十分に確認できる。	生物と生命現象について、観察・実験などを通して、思考力、判断力、表現力が概ね確認できる。	生物と生命現象について、観察・実験などを通して、思考力、判断力、表現力が不十分である。
【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。 ・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。	授業プリント 実験レポート 授業態度 発言	生物と生命現象について、主体的にかかわり、観察・実験などを通して科学的に探究しようという態度・表現が十分できる。	生物と生命現象について、主体的にかかわり、観察・実験などを通して科学的に探究しようという態度・表現が概ねできる。	生物と生命現象について、主体的にかかわり、観察・実験などを通して科学的に探究しようという態度・表現が不十分である。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	理科	科目	物理基礎（総合選択C）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）		新編物理基礎（東京書籍）					
副教材等（出版社）		ニューサポート新編物理基礎（東京書籍）					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物体の運動と様々なエネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	直線運動 力と運動の法則	- 運動の表し方、速度、変位、等速直線運動 - x-t グラフ、v-t グラフ - 加速度、等価速度直線運動 - 自由落下、鉛直投射、水平投射 - 力のつり合い、合成と分解 - 垂直抗力と弾性力 - ニュートンの運動の法則（慣性、運動方程式、作用・反作用） - 摩擦力、空気の抵抗力 - 水圧と浮力	24
2	力学的エネルギー 熱 波	- 仕事、仕事の原理、 - 運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー - 温度と熱、熱の移動と保存 - 熱と仕事、熱機関と不可逆変化 - 波の表し方、横波と縦波、波の重ね合わせ - 定常波、波の反射 - 音波、弦の固有振動	30
3	電気 エネルギーとその利用	- 電流と電気抵抗、直列接続と並列接続 - 電力と電力量 - 電流がつくる地場、発電機のしくみ - エネルギーの変換と保存 - 原子核のエネルギー、放射線の利用と安全性	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	与えられた課題に対して、十分に(80%以上)理解している。	与えられた課題に対して、半分程度の理解をしている。	課題を理解していない。課題に取り組んでいない。
【思考力、判断力、表現力等】	・定期考査 ・実験、授業プリント等の記述 ・課題や発表活動の内容	与えられた問に論理的に考え、表現することができる。	与えられた問に答えることができる。	与えられた問に答えることができない。
		考察や自分の考えをまとめ、表現できる。	実験データの整理を行うことができる。	実験結果の記録のみで、考察などデータの整理ができていない。または記録もできていない。
【主体的に学習に取り組む態度】	・振り返りシートの記入 ・スタディサプリの取組状況 ・授業プリント等の提出状況 ・発表活動の取組状況	プリントの記載を工夫を重ねてできている。	プリントの記載を正しくできている。	プリントの記載や考察などが取り組んでいない。
		実験、発表活動について、自らの工夫を重ねて取り組んでいる。	活動に向けて自発的に取り組んでいる。	実験や発表などに取り組むことができていない。
		授業の振り返りを粘り強く取り組み、自己調整に活かしている。	授業の振り返りを取り組みことができる。	授業の振り返りを取り組むことができない。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	体育	科目	スポーツ（総合選択A，B）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）		現代高等保健体育					
副教材等（出版社）							

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の技能に対する正しい知識を身につけ、効率的な技能を身につける。	練習計画を自ら考え、自己及び仲間の体力・技術に合わせて内容を判断でき、それを仲間に表現できるようにする。	自ら積極的に運動に取り組むことができ、その技能の成り立ちについての興味・関心を持ち、研究していける態度を育んでいく。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	- 生徒たちによる授業計画を行う - 準備や片づけなど生徒中心に協力しながら行う - ゲーム形式を中心に授業を展開する - 公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく - 授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む - 必要であれば実技テストを行う	24
2	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	- 生徒たちによる授業計画を行う - 準備や片づけなど生徒中心に協力しながら行う - ゲーム形式を中心に授業を展開する - 公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく - 授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む - 必要であれば実技テストを実施する	30
3	選択体育 バレーボール・バスケットボール・サッカー テニス・バドミントン・ソフトボール・卓球 など 上記の種目の中から選択し実施する	- 生徒たちによる授業計画を行う - 準備や片づけなど生徒中心に協力しながら行う - ゲーム形式を中心に授業を展開する - 公式ルールに則り試合を実施し、各種目のルールを覚えていく - 授業の振り返りを行い生徒自ら評価や改善できるよう取り組む - 必要であれば実技テストを実施する	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 ・運動の技能の高さ ・競技、ゲームや技能に対する知識	学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	運動に対する高い機能を身につけており、競技・ゲームのルール等の知識を有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識を概ね有していること。	運動に対する技能、競技・ゲームのルール等の知識が不十分である。
【思考力、判断力、表現力等】 ・練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できているか。	学習活動、ゲームに取り組む姿勢の観察	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できている。	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習することが概ねできている	練習方法を自ら考え、その内容を判断し、仲間に表現しながら学習できていない。
【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できているか。	ゲームに取り組む姿勢の観察	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できている。	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動することが、概ねできている	積極的に学習活動に取り組む、仲間と協力しながら、役割を果たし活動できていない。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	外国語	科目	英語総合演習（総合選択A，B，C）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）		自校作成教材					
副教材等（出版社）		Watching Light（浜島書店）					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
基本的な語句や文法を理解し、英文を読んだり聞いたりして概要と要点を捉え、内容を理解することができる。	平易な英語を用いて情報や考えなどを伝え、相手とやり取りすることができる。基本的な英文法を用いて情報や考えなどを短い英文で書いて表現できる。	積極的にワークシートに取り組んで内容を理解しようとしている。積極的にコミュニケーション活動に参加して情報や考えを伝えようとしている。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	1 HARAMI chan 2 J. League' s 30 th Anniversary 3 High School Deer Dancing Club 4 Queen Elizabeth II	・ 英文を聞き、ワークシートの質問に答える。 ・ 英文を読み、概要と要点をまとめる。 ・ 本文の要約をする。 ・ 本文の発音練習をし、音読をする。 ・ 質問に対して自分の考えを書いて伝える。 ・ 自分の考えを生徒同士で話して伝え合う。	24
2	5 Restoring Shuri Castle 6 Kiwi, Icon of New Zealand 7 Ishikawa Yuki 8 What Can We Do in the Metaverse?	・ 英文を聞き、ワークシートの質問に答える。 ・ 英文を読み、概要と要点をまとめる。 ・ 本文の要約をする。 ・ 本文の発音練習をし、音読をする。 ・ 質問に対して自分の考えを書いて伝える。 ・ 自分の考えを生徒同士で話して伝え合う。	30
3	9 Osagari Culture in Tanegashima 10 Cup Noodles	・ 英文を聞き、ワークシートの質問に答える。 ・ 英文を読み、概要と要点をまとめる。 ・ 本文の要約をする。 ・ 本文の発音練習をし、音読をする。 ・ 質問に対して自分の考えを書いて伝える。 ・ 自分の考えを生徒同士で話して伝え合う。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 英文を読んだり聞いたりして概要と要点を捉え、内容を理解する技能を身に付けている。	定期考査 言語活動	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【思考力、判断力、表現力等】 質問に対し、情報や考えなどを平易な英語を用いて話したり書いたりして伝えている。	定期考査 言語活動	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。
【主体的に学習に取り組む態度】 質問に対し、情報や考えなどを平易な英語を用いて話したり書いたりして伝えようとしている。	言語活動 授業態度 提出物	生徒の達成度が 80%以上である。	生徒の達成度が 80%未満 50%以上である。	生徒の達成度が 50%未満である。

2 都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	服飾手芸（総合選択A、B）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）							
副教材等（出版社）							

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
手芸の種類と特徴及び変遷、各手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の政策と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用により主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	手芸の種類	手芸の種類を知る それぞれの特徴及び変遷を知る	4
	デザイン基礎	デザイン手法の基礎を知る	4
	刺繍基礎	基礎的な技法を知る	16
	クロスステッチ基礎	基礎的なデザインができる	
2	刺繍基礎 クロスステッチ作品製作	基本的なデザインを理解する 作品を仕上げる	18
	染色基礎	基礎的な技法を知る 作品を仕上げる	16
3	編物基礎	編み図・目数表の読み取り方 棒針編み 基礎 かぎ針編み基礎	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】	作品 ワークシート	実習内容を理解し、手順通り適切に行うことができる。	実習を、おおむね適切に行うことができるが、誤った手順をすることがある。	誤った手順をすることが多い。実習を他人に委ねるなど参加していない。
【思考力、判断力、表現力等】	作品 発表 ワークシート 授業態度	内容を理解し、さらに自主的な学習・工夫した実践を行うことができる。	内容を理解し、発言・記述・作品提出をしている。	内容を理解しておらず、発言・記述・提出していない。
【主体的に学習に取り組む態度】	授業態度 ワークシート 作品 発表	課題や実習に主体的に取り組む、自主的な学習・工夫した実践が認められる。	課題や実習内容を理解し、発言・記述・作品提出をしている。	課題や実験、実習を誤った手順でしたり、他人に委ねるなど参加していないことが多い。プリント等の記載や考察などができてない。

※具体的な評価方法等

達成率	50%未満		50%以上 80%未満	80%以上	
観点別学習状況	C		B	A	
評定	1	2	3	4	5

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	保育基礎（総合選択B）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決しようとする。	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	第1章 子どもの保育	・ 保育の意義	4
	第2章 子どもの発達	・ 乳幼児の発育と発達	
	第3章 子どもの生活	・ 子どもの健康と安全	
	第4章 子どもの福祉	・ 児童福祉の理念制度	
	第5章 子どもの文化	・ 子ども文化の意義 ・ 子どもの文化を支える場 ・ 子どもと遊び	16
	保育園実習	・ 全国高等学校家庭科保育技術検定4級挑戦	8
		・ 実習準備 ・ 保育園実習（夏休み中に高校生が保育園を訪問・実習）	2
2	第5章 子どもの文化	・ 子どもの表現活動の意義 ・ 造る・描く ・ 話す・演じる ・ 歌う・踊る・演奏する	10
		・ 探究：紙芝居の演じ方	4
		・ 探究：「ようこそ〇〇保育園」（高校を園児が訪問）	10
		・ 全国高等学校家庭科技術検定3級挑戦	8
3	保育園実習	・ 探究：「ようこそ〇〇保育園」（高校を園児が訪問）	4
	学習のまとめ	・ 学習のまとめ	4

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】	定期考査 実習 ワークシート・レポート	与えられた課題・実習に対して、十分に理解している。	与えられた課題・実習に対して、半分以上の理解をしている。	与えられた課題・実習を理解していない。課題・実習に取り組んでいない。
【思考力、判断力、表現力等】	ワークシート・レポート・作品 定期考査 授業態度	考察や自分の考えをまとめ、表現できる。発表活動などで発展的な課題を生成し、成果を発揮することができる。	発表活動などに自発的に取り組み、成果を発揮することができる。	発表活動などにおける調べ学習・考察を行わず、成果を発揮できない。
【主体的に学習に取り組む態度】	実習 ワークシート・レポート・作品 授業態度	課題や実習に主体的に取り組む、プリント等の記載が工夫を重ねてできている。	課題や実習をおおむね適切に行うことができ、プリント等の記載が正しくできている。	課題や実習を他人に委ねるなど参加していないことが多い。プリント等の記載や考察などができてない。

※具体的な評価方法等

達成率	50%未満		50%以上 80%未満	80%以上	
観点別学習状況	C		B	A	
評定	1	2	3	4	5

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ（総合選択A，B）	学年	3	単位	4
教科書（出版社）	新財務会計Ⅰ（実教出版）						
副教材等（出版社）	反復式学習と検定 会計（実教出版）						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連づけられ、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ知識と技術が身についているか。	財務会計に関する理論や企業活動の流れなどを、科学的な根拠にもとづいて課題を処理できる力と、財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力が身についているか。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度と、会計情報の提供や効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身についているか。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 2 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 4 資産の意味・分類・評価 5 流動資産 6 固定資産 7 負債の意味と分類 8 流動負債 9 固定負債 10 純資産の意味と分類 11 資本金 12 資本剰余金 13 利益剰余金	・ 企業会計の意義や役割、企業会計制度について ・ 資産の意味と分類、資産の評価について ・ 当座資産の意味と会計処理、売上債権の貸倒見積高の算定 ・ 棚卸資産の意味と会計処理、期末評価について ・ 有形固定資産の意味と会計処理、減価償却の計算方法 ・ 無形固定資産の意味と会計処理 ・ 投資その他の資産の意味と会計処理、期末評価について ・ 流動負債の意味と会計処理 ・ 固定負債の意味と会計処理 ・ 資本金の意味と会計処理 ・ 資本剰余金の意味と会計処理、会社の合併について ・ 利益剰余金の意味と会計処理	48
	14 自己株式 15 新株予約権 16 貸借対照表の作成 第3編 損益計算書 第17章 損益計算のあらまし 18 損益計算の意味と基準 19 売上高 20 売上原価・販売費及び一般管理費 21 営業外収益・営業外費用 22 特別利益・特別損失 23 損益計算書の作成 24 その他の財務諸表	・ 自己株式の意味と会計処理 ・ 新株予約権の意味と会計処理 ・ 報告式の貸借対照表の作成方法と作成に必要な原則について ・ 損益計算の意味と基準、収益・費用の認識基準について ・ 売上高の意味と会計処理、販売基準について ・ 売上原価と販売費及び一般管理費の意味と会計処理 ・ 営業外収益・営業外費用の意味と会計処理 ・ 特別利益・特別損失の意味と会計処理 ・ 損益計算書の作成方法と作成に必要な原則について ・ 株主資本等変動計算書の作成方法	60
	第4編 その他の会計処理 第25章 役務収益・役務原価 26 外貨建取引 27 税効果会計 第5編 財務諸表の活用 28 財務諸表のディスクロージャー 29 財務諸表分析 30 連結財務諸表のあらまし 31 連結財務諸表の作成	・ 役務収益・役務原価の意味と会計処理 ・ 外貨建取引の意味と会計処理、為替差損益の発生理由について ・ 税効果会計の意味と会計処理 ・ 財務諸表分析の意味と方法、種類について ・ 連結財務諸表の意味と必要性 ・ 連結財務諸表の作成方法	16

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】	試験 課題	財務会計に関する理論的な知識と技術を実務と関連づけて十分に（80%以上）身につけている。	財務会計に関する理論的な知識と技術を実務と関連づけてある程度身につけている。	財務会計に関する理論的な知識と技術を実務と関連づけて身につけていない。
【思考力、判断力、表現力等】	試験 課題 グループワーク	財務会計に関する理論や企業活動の流れなどを、科学的な根拠にもとづいて課題を処理できる力と、財務指標を組み合わせる企業の実態を総合的に分析する力が十分に（80%以上）身につけている。	財務会計に関する理論や企業活動の流れなどを、科学的な根拠にもとづいて課題を処理できる力と、財務指標を組み合わせる企業の実態を総合的に分析する力がある程度身につけている。	財務会計に関する理論や企業活動の流れなどを、科学的な根拠にもとづいて課題を処理できる力と、財務指標を組み合わせる企業の実態を総合的に分析する力が身につけていない。
【主体的に学習に取り組む態度】	試験 課題 グループワーク	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度と、会計情報の提供や効果的な活用に責任をもって取り組む態度が十分に（80%以上）身につけている。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度と、会計情報の提供や効果的な活用に責任をもって取り組む態度がある程度身につけている。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度と、会計情報の提供や効果的な活用に責任をもって取り組む態度が身につけていない。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスマナー（総合選択A）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)		高校生からのビジネスマナー（実教出版）					
副教材等(出版社)		秘書検定3級パーフェクトマスター（実務技能検定協会 編）					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
実際のビジネスにおける様々な場面で役に立つビジネスマナーに関する知識と技術を身に付けている。	ビジネスにおける課題を発見するとともに、ビジネスマナーに関する理解、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。	自らビジネスマナーについて学ぶ態度を及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他社と信頼関係を構築態度を養っている。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	第1章 ビジネスマナーの基本 第2章 コミュニケーションの重要性 第3章 ビジネスと経営組織 第4章 面接のマナー 秘書検定3級対策問題	・礼法指導 ・身だしなみ ・挨拶 ・敬語の使い方 ・電話対応 ・企業の経営組織 ・企業理念 ・秘書検定3級過去問題演習	24
2	第1章 秘書的な仕事を行う心構え 第2章 社会・一般常識 第3章 マナー接遇 第4章 技能 秘書検定2・3級対策問題	・上司の補佐役 ・指示と報告 ・秘書に求められる能力 ・人柄・身だしなみ ・効率的な仕事の進め方 ・人間関係と話し方 ・報告の仕方 ・指示・注意・忠告の受け方 ・弔辞のマナー ・秘書検定2・3級過去問題演習	30
3	第5章 秘書検定3級受験直前問題練習 秘書検定2級対策問題	・ファイリングと資料管理 ・日程管理・オフィス管理 ・問題練習、解答・解説 ・秘書検定2・3級過去問題演習	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 ビジネスマナーに関心を持ち、ビジネスの場における態度について学び、円滑なコミュニケーション力を身につけようとする。	教材等の授業準備、 課題の提出状況、 定期考査	ビジネスマナーについて理解を深め、ビジネスの場での社会人としてのふるまいについてシュミレーションすることができる。	ビジネスマナーの基本を学び、社会人としてのふるまいについて理解している。	ビジネスマナーについて理解することができない。
【思考力・判断・表現力等】 ビジネスの場面においてさまざまな問題を見出し、論理的に考え、社会常識に基づいて判断することができる	教材等の授業準備、 課題の提出状況、 定期考査	互いを尊重し、職場でのコミュニケーションやビジネスマナーについて考え適切に判断することができる	職場でのビジネスマナーについて考え、ある程度判断することができる	ビジネスマナーについて考えることや判断することができない
【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスに関する用語の意味やビジネスマナーの必要性について理解している。	課題の提出状況、 定期考査	ビジネスに関する用語やビジネスマナーを理解し、適切にふるまうことができる。	ビジネスに関する用語やビジネスマナーをある程度理解している。	ビジネスに関する用語やビジネスマナーがあやふやで必要性について理解することができていない

※具体的な評価方法等

- ・授業に対する意欲、姿勢、課題の提出状況、考査点などを総合的に判断して評価する。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	コンピュータ活用（総合選択A）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集1・準1級編（日本情報処理検定協会） 全商情報処理検定模擬試験問題集1級（実教出版） 30時間でマスターAccess2013（実教出版）					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	表計算ソフトウェアの活用 日本情報処理検定協会 情報処理技能検定試験（表計算） 1級・準1級	日本情報処理検定準1級から1級までの実技課題に取り組み表計算の活用への基礎リテラシーを習得する 練習問題による基礎の習得 演習問題による応用力の習得と検定受験対策	24
2	データベースソフトウェアの活用	リレーショナルデータベースの操作を習得する。 テーブルの設計と作成 クエリの作成、操作 Excel データのインポートや Excel データへのエクスポートを利用する。	30
3	表計算ソフトウェアと文書作成ソフトウェアとの連携 文書作成ソフトウェアの活用 表計算ソフトウェアのマクロ機能の活用	表計算ソフトウェアで作成したデータを、文書作成に活用する技術を習得する。 表計算ソフトウェアのシート間でのデータ連携について学習する。 文書作成ソフトウェアを活用し、文書デザインのリテラシーについて学習する。 Excel VBA を利用して、フォーム設計とシートとフォーム上のオブジェクトの連携によるデータの流れについて学習する。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 学習した内容を理解し、コンピュータを適切に活用しようとしている。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	学習内容を解決するために、ソフトウェアの活用に関して具体的な方策を考え、適切に活用することができる。	学習内容の解決に向けたプロセスに応じて、ソフトウェアの活用に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に活用するには課題がある。	学習内容の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】 実行結果を導くために、どのように処理をすればよいのかを考えることができる。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	課題を解決するために、ソフトウェアの操作に関して具体的な方策を考え、適切に処理手順を提示することができる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて、表計算ソフトウェアの操作に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に処理手順を提示するには課題がある。	課題の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアを活用し、処理条件にしたがって、効率的に正確な処理を実行することができる。	課題に対する提出物やペーパーでのテスト、授業への取り組み姿勢	課題を解決するために、表計算ソフトウェアの操作に関して具体的な方策を考え、適切に処理することができる。	課題の解決に向けたプロセスに応じて、ソフトウェアの操作に関する大まかな方策を立てることができるが、適切に処理するには課題がある。	課題の解決に向けた方策を教員や友人からの支援があれば考えることができる。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	観光ビジネス	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	観光ビジネス(実教出版)						
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、観光ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、観光資源の効果的な活用、マーケティング、観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組んでいる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	Introduction なぜ観光ビジネスを学ぶのか 第1章 観光ビジネスの概要 1. 観光ビジネスの担い手と特徴 2. 観光ビジネスの動向 3. 日本の観光政策 4. 観光ビジネスと地域 第2章 観光ビジネスの主な産業 1. 旅行業 2. 宿泊業 3. 旅客輸送業 4. 娯楽業 5. その他の産業 第3章 観光ビジネスのマーケティング 1. 観光ビジネスの顧客	観光ビジネスを学ぶ意義を理解する。 観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について学ぶ。 観光ビジネスの意義と課題について理解する。 観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 観光ビジネスの主な産業の概要について学ぶ。 観光ビジネスの主な産業の意義と課題について理解する。 観光ビジネスの主な産業について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 観光ビジネスの主な産業の概要について学ぶ。 観光ビジネスの主な産業の意義と課題について理解する。 観光ビジネスの主な産業について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 観光ビジネスにおけるマーケティングについて学ぶ。 観光ビジネスにおけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善する。 観光ビジネスにおけるマーケティングについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	24

2	第3章 観光ビジネスのマーケティング 2. 観光ビジネスにおけるマーケティングの意義 3. 観光ビジネスのマーケティング戦略 実習 もしあなたが地域の観光マーケティング戦略の立案担当になったら 第4章 観光資源の発見と活用 1. 観光資源とは何か 2. 観光資源の保護と保全 第5章 地方自治体の観光政策 1. 地方自治体の観光政策の概要 2. 地方自治体の観光政策の実施内容	観光ビジネスにおけるマーケティングについて学ぶ。 観光ビジネスにおけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善する。 観光ビジネスにおけるマーケティングについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 実習に主体的かつ協働的に取り組む。 観光資源について学ぶ。 観光資源の活用および保護や保全に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。 観光資源について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 地方自治体の観光政策について学ぶ。 地方自治体の観光政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善する。 地方自治体の観光政策について自ら学び、観光による地方創生や地域の活性化などを踏まえ、持続可能な観光政策に主体的かつ協働的に取り組む。	30
3	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり 1. 観光まちづくりとは何か 2. 観光まちづくりと地域の活性化のプロセス 実習 地域の活性化と観光まちづくりの実践 プレゼンテーションをしてみよう	観光まちづくりによる地域の活性化について学ぶ。 観光まちづくりによる地域の活性化に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光まちづくりによる地域の活性化に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。 観光まちづくりによる地域活性化について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 実習に主体的かつ協働的に取り組む。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】	授業態度 提出部の内容	観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	観光ビジネスに関する知識と技術を概ね身に付けている。	観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けているが、十分な理解には及んでいない。
【思考力、判断力、表現力等】	授業態度 提出部の内容 課題内容	観光ビジネスに関する理論，データ，成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	観光ビジネスに関する理論，データ，成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えようとしている。	観光ビジネスに関する理論，データ，成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えることが出来ていない。
【主体的に学習に取り組む態度】	授業態度 提出部の内容 課題内容 プレゼンテーション	当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的に関わり，観光資源の効果的な活用，マーケティング，観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組んでいる。	当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的に関わり，観光資源の効果的な活用，マーケティング，観光の振興策の考案と実施などに取り組もうとしている。	当事者としての意識をもち，他者と信頼関係を構築して積極的に関わり，観光資源の効果的な活用，マーケティング，観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組んでいない。

※具体的な評価方法等

- ① 授業状況・出欠・提出物・アクティブラーニング、実習課題の内容で評価する
- ② 観光ビジネスシート等の提出
- ③ グループ学習の取組み・課題提出
- ④ プレゼンテーション技法が身に付いているか
- ⑤ 観光ビジネスの知識・技法が習得できているか

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスデザインⅠ (総合選択Ⅱ)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	なし						
副教材等(出版社)	これから始める illustrator & Photoshop の本 (技術評論社)						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
Illustrator やPhotoshopを活用して、作品を制作する能力を身につける。 作品制作やプレゼンテーションに必要な知識を習得する。	クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考えて、作品制作を行う能力を身につける。	デザインに関する分野に関心を持ち、積極的に課題に取り組む姿勢を身につける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	Illustrator の基礎練習	・ Illustrator の基本操作を学習する ⇒テキストに沿いながら、オブジェクト・テキスト・カラーリング等について学ぶ。 ・ ペンツールを使用したイラスト作成の基礎を学ぶ。 ⇒企業のロゴ等を題材に、ペンツールを使用しトレースする。 ・ 今後の学習に活かす為、手書きでキャラクターデザインまたはロゴデザインを描く。 ⇒描いたデザインを元にペンツール等を使いトレースを行い、デザインとして完成させる。	24
2	Photoshop の基礎練習 課題制作	・ Photoshop の基本操作を学習する ⇒画像の加工・合成等について学ぶ。 ・ 各種選択方法を駆使した加工方法を学ぶ。 ⇒身近な物を題材に、画像の選択・加工・合成等について実践的に学ぶ。 ・ 広告の目的について理解する。 ・ 広告計画の立案と実施の流れや広告に関する規制及び広告活動に求められる倫理について理解する。 ・ コンテストに応募を行う。コンテストの課題に対して、社会的な要求やクライアントからの要望等を踏まえながら調査研究を行い自らデザインコンセプトを設定する。 ・ 設定したコンセプトに基づき、ポスターを制作する。	30
3	課題制作	・ 設定したコンセプトに基づき、ポスター等を制作する。 作成した作品に対してさまざまな要素を言語化し、説明できるようにする。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 デザインに関する分野に関心があり、課題に取り組んでいる。	課題 作品	デザインに関する分野に強い関心があり、積極的に課題に取り組んでいる。	デザインに関する分野に関心があり、課題に取り組んでいる。	デザインに関する分野に関心が見られず、課題に取り組む姿勢が不十分である。
【思考力、判断力、表現力等】 完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察し、課題及び作品の製作をおこなっている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考えて、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	課題 作品 ポートフォリオ	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することが十分できている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを十分に考え、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することが概ねできている。 クライアントの要望にどのように応えていけばよいのかを考え、作品およびポートフォリオの制作をおこなっている。	完成度の高いものを効率よく作成する手順を考察することができない。 クライアントの要望に応えることができていない。または、作品およびポートフォリオの制作を怠っている。
【主体的に学習に取り組む態度】 Illustrator や Photoshop を活用して、課題を制作することができる。	課題 作品	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作することが十分できている。	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作することが概ねできている。	Illustrator または、Photoshop を活用して、課題を制作が不十分である。

※具体的な評価方法等

・提出物・作品・ポートフォリオ（60％）・取り組み状況・出席（40％）等を総合的に判断し評価する。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	ビジネスマナー応用 (総合選択C)	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		『秘書検定2級パーフェクトマスター』早稲田教育出版					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
ビジネスマナーの適切な知識が身についている。ビジネスマナーの知識・技術が適切に運用できている。	目標達成へ向けて計画的かつ円滑に学習を進め、ビジネスマナーの知識・技術が適切に表現できている。	ビジネスマナーの習得を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	1、必要とされる資質 ・秘書の心構え ・秘書に必要な条件 2、職務知識 ・秘書の役割と機能 ・秘書の職務 3、一般知識 ・企業と経営 ・企業の活動 ・社会常識 1 1	・職業人としての自覚と心構え ・上司の補佐役としての秘書 ・秘書人求められる能力 ・秘書の分類と組織の中の秘書 ・上司の機能と秘書の機能 ・秘書の職務における心構え ・定型業務、非定型業務 ・効率的な仕事の進め方 ・資本と経営、企業、人事、会計、マーケティング、会社に関する法等 ・基礎用語、略語等	24
2	4、マナー・接遇 ・人間関係と話し方・聞き方 ・話し方・聞き方の応用 ・電話対応と接遇 ・交際 5、技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書 ・資料管理等	・人間関係の重要性 ・話し方の基本知識 ・敬語の用法等 ・報告の仕方 ・説明・説得・注意・忠告の仕方、受け方 ・苦情処理 ・電話対応の基本と実際 ・慶事・弔辞の対応 ・会議の知識 ・社内文書の知識 ・適切な郵送方法の知識 ・メモ、グラフ等の書き方 ・資料管理の方法等	36
3	※検定問題練習『秘書検定2級』	※秘書検定2級問題練習	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ビジネスマナーの適切な知識が身についている。ビジネスマナーの知識・技術が適切に運用できている。	考査・検定試験 対策問題の得点	理論問題、実技問題 の正答率 80 % 以上	理論問題、実技問題 の正答率 50 % 以上	理論問題、実技問題 の正答率 50 % 以下
【思考力、判断力、表現力等】 目標達成へ向けて計画的かつ円滑に学習を進め、ビジネスマナーの知識・技術が適切に表現できている。	中級程度のビジネスマナーの考え方が理解できるか	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができるだけでなく、理解し説明できる。	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができる。	ビジネスマナーの問題を択一問題で正答を選ぶことができない場合が多い。
【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスマナーの習得を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。	教材等の準備や事例・演習問題等に取り組む	ビジネスマナーの習得を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。	ビジネスマナーの習得を目指し、学習に取り組んでいる。	ビジネスマナーの習得を目指し、学習に取り組んでいない。

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	電卓上級	学年	3	単位	2
教科書(出版社)							
副教材等(出版社)		珠算・電卓実務検定模擬問題集1級(実教出版)					

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各種計算方法を利用し、計算が適切にできる。そして、より早く、より正確に。	各種計算方法を利用し、問題に対して適切な計算方法を用い、端数処理が適切に行うことができ、正しい答えを書くことができる。	教材の準備や授業に対する取り組み姿勢。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	ビジネス計算の基礎の復習 ※6月の全商ビジネス計算実務検定1級受験に向けた取り組み 単利の計算 手形割引の計算 売買損益の計算 普通計算	度量衡・貨幣換算・割合 ・元金・利息・期間を求める計算 ・割引料・手取金を求める計算 ・売買・損益・手数料・代価計算 ・仲立人の計算 ・外貨計算を含む乗算・除算・見取算	24
2	※11月の全商ビジネス計算実務検定1級受験に向けた取り組み 単利の計算 複利の計算 減価償却の計算 証券投資の計算	積数法による計算 ・元利合計から元金を求める計算 ・終価・現価・利息を求める計算 ・端数期間のある計算 ・年金終価・年金現価の計算 ・年賦金の計算 ・積立金の計算 ・定額法・定率法の計算 ・減価償却表の作成 ・証券の買入代金、単利最終利回りの計算 ・株式の買入代金・売渡代金 ・利回り、指値の計算	30
3	普通計算	・乗算・除算についての構成比率の計算 ・複合算 ・伝票算	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A（良い）	B（概ね達成）	C（不十分）
【知識及び技能】 各種計算方法を利用し、計算が適切にできる	小テストの得点や課題の完成状況 考査・検定対策問題の得点	電卓を使用して速く正確に計算することができる。正答率が80%以上 課題をすべて提出している	電卓を使用して速く正確に計算することができる。正答率が50%以上 課題を概ね提出している	電卓を使用して速く正確に計算することができる。正答率が50%未満 課題の提出が不十分である
【思考力、判断力、表現力等】 各種計算方法を利用しているか	考査・小テストや課題の内容	課題に対して適切な各種の計算方法を概ね理解し利用できる	課題に対して適切な各種の計算方法を理解はしているが、利用できないこともある	課題に対して適切な各種の計算方法の理解が不十分である
【学びに向かう力、人間性等】 教材の準備や授業に対する取り組む姿勢	教材等の準備や事例・演習問題等に取り組み	課題に対して自ら意欲的に取り組んでいる	課題に対して取り組んでいる	課題に対して取り組みが不十分である

※具体的な評価方法等

- ・授業状況・出欠・提出物やペーパーテストで総合的に評価する
- ・検定試験の結果は加点項目とする(減点要素とはしない)

都立葛飾商業高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科	商業	科目	Web開発（総合選択C）	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	なし						
副教材等(出版社)	書きながら覚えるHTML & CSS入門ワークブック（技術評論社）						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を身につける。	・ウェブページを作成するために、目的に応じた機器やソフトウェアを活用し、閲覧者の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信の方法を選択する能力を身につける。 ・知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	・意欲を持って、ウェブページ作成に必要な知識や技能を積極的に学ぶ姿勢を身につける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容、	時数
1	(1) HTMLとCSSの基礎 (2) headの構成とmetaデータ (3) headerの内容と作成 (4) main contentsの作成	・html・CSSの基礎的な知識と構成 ・headの内容と作成 ・headerの作成 navの作成 cssを活用したmainvisualの作成 ・main contentsの作成 class名の活用とflexboxを使用した様々なレイアウト 外部contentsの埋め込み	24
2	(5) footerの内容と作成 (6) コンテンツの作成 (8) Webページの作成手順 (9) オリジナルサイトの作成	・外部contentsへのリンクの作成と著作権情報 ・ファイルの形式 ・図形と画像 ・音声 ・情報の統合 ・ウェブページ制作の手順 ・ウェブデザイン設計 ・ウェブページの作成 ・フレームワークとデザインキャンプの作成 ・オリジナルサイトの作成	30
3	(9) オリジナルサイトの作成	・オリジナルサイトの作成と公開・相互評価	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ・ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を身につけている。 ・図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページを作成できる。	・提出されたデザインキャンプおよびWebページ	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を十分身につけている。 図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用が十分できている。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成が十分できている。	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を概ね身につけている。 図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用が概ねできている。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成が概ねできている。	ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や企画・立案、制作の手法を身につけることができていない。 図形や静止画などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用ができていない。 ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用してウェブページの作成ができていない。
【思考力、判断力、表現力等】 ・ウェブページを作成するために、目的に応じた機器やソフトウェアを活用し、閲覧者の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。 ・知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。	・提出されたサイトデザインの研究資料。 ・提出されたデザインキャンプおよびWebページ	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が十分できている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決することが十分できている。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信が十分できている。	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が概ねできている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決することが概ねできている。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信が概ねできている。	ウェブページ閲覧者の傾向や状態を収集・分析が十分できている。それらを踏まえ、周囲の意見や考えを取り入れながら、自ら問題を解決する能力が不足している。 知的財産権を踏まえながらわかりやすい情報発信ができていない。
【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲を持って、ウェブページ作成に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。	・授業及び課題に取り組む態度。 ・課題の提出状況	ウェブページの制作活動に大変興味・関心があり、自ら課題を見つけ、積極的に取り組もうとする意欲、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	ウェブページの制作活動に興味・関心があり、与えられた課題に取り組もうとする意欲と、課題解決に向けて取り組む姿勢がある。	ウェブページの制作活動に興味・関心がなく、与えられた課題に取り組もうとする意欲がない。

※具体的な評価方法等